

電波時計（カレンダー表示付掛時計） 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 暗くなると文字板面を照明します
- 暗くなると秒針が12時位置に止まります

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎのの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。**お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「4FYA03」をお伝えください。**

発売元 **リズム時計工業株式会社**

（フリーダイヤル）

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1010)

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

注意 「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

強制 必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■液晶について

注意 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、すぐに水道水でよく洗い流し、医師の治療を受けてください。

■使用場所について

- 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下の所では、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多い所。
- ほこりが多く発生する所。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや故障の原因になります。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃	電波受信機能	標準電波受信による時刻修正
時間精度	標準電波受信直後の表示精度 秒針±1秒 時分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)	受信局	福島局/九州局 自動選択
表示	針：時刻 デジタル：月日、曜日	受信回数	1日7回
カレンダー	2000年～2099年まで対応	受信ON/OFF	あり スイッチで切り替え
使用電池	単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR14 2個	自動受信開始時刻について	午前2時*、3時*、6時*、10時台、午後2時、6時、10時台の16分40秒に受信を開始します。 *印の時刻では秒針が停止します。
電池寿命	約1年 明暗センサーと連動して1日あたり、 照明：7時間照明(明るさ強) 秒針：7時間12時位置に停止	■液晶について	▷0℃以下では薄くなったり、反応が鈍くなる場合があります。 ▷40℃以上では表示が濃くなり、むらに見えることがあります。 ▷液晶はおよそ5年を経過すると表示が薄くなる場合があります。
電池交換時期	電池マークで表示	■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。	
お知らせ機能	明暗センサーと連動して暗所自動点灯		
照明方式	LEDバックライト		
明るさ	2段階切り替え		
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して12時位置に停止		

付属品

単2形アルカリ乾電池 2個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

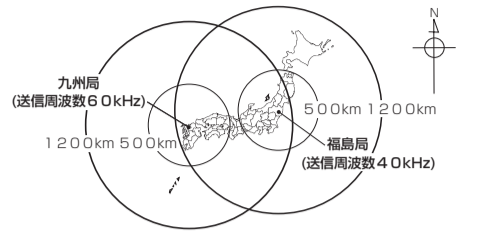
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときは、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

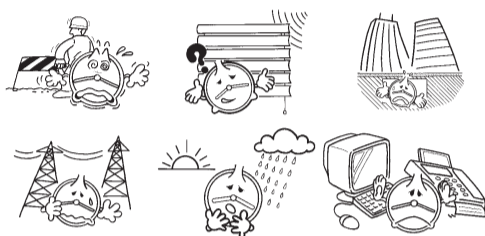


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近くビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く、
- スチール机等の金属製家具の上や近く



電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故を無くしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について

- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。ⓧアルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
(例：Panasonic オキシライド乾電池)

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

- 警告** ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- 注意** ●電池を充電しない。
- 電池をショートさせない。
- 時計を使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。

注意 火に入れると破裂の原因となり危険です。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのごくれ落しに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けした壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。
- 電池を取り外してください。

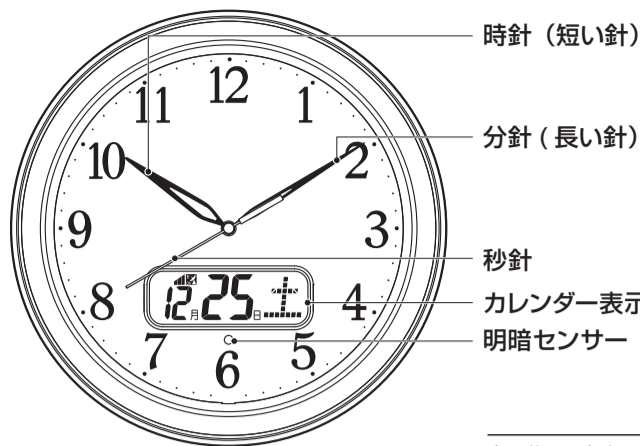
静電気の影響について

静電気の影響により、時計や液晶表示などが正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、リセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

1. 時刻の合わせ方 電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので、商品と異なることがあります。



◆ 液晶表示 ◆

液晶表示は、時計を掛けて少し見上げる位置がクッキリ見やすくなっています。使用している液晶の特性上、他の角度から見ると表示がむらに見えたり、薄くみえることがあります。

針の動き……通常の時刻表示
 時計・分針：10秒に1回
 秒針：1秒に1回
 ※自動受信するときに、秒針が停止したり、受信後に修正するために針が早送りや停止することがあります。

標準電波を受信させないで、手動で時刻を合わせる場合は「標準電波を受信できない場合」の「手動時刻合わせ」を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

① 電波受信スイッチをONにする

② 電池を入れる

電池ふたを取り外し、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れて、電池ふたを取り付けます。
 電池を逆に入れると、時計は動きません。

③ リセットボタンを押す

針が早送りで12時位置に移動して停止します。その後受信を開始します。
 ※電池を入れた後は誤作動を防ぐため、必ずリセットボタンを押してください。

④ 時計を掛ける

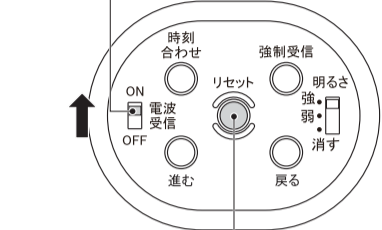
「時計の掛け方」に従い、時計を確実に掛けてください。

⑤ 受信結果を確認する

最長で16分程度受信を行います。受信が終わると針が早送りで時刻を示します。

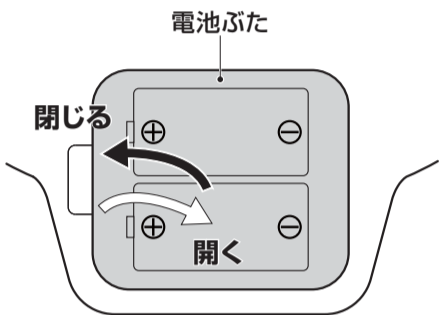
☞「標準電波一受信の流れ」参照。

① 電波受信スイッチ



③ リセットボタン (裏面の操作部)

〈電池の入れ方〉②



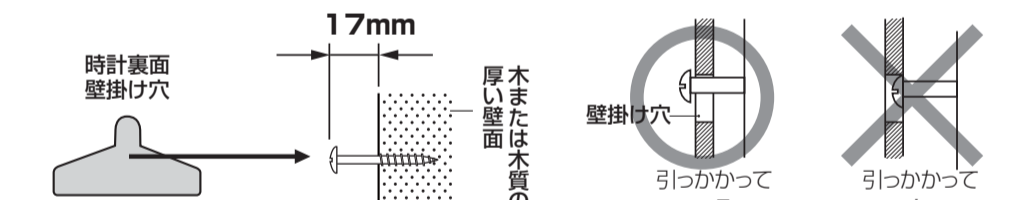
単2形アルカリ乾電池 2個
 電池ホルダーの⊕⊖表示と逆向きに入れると発熱・破裂・液もれの原因になります。

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてリセットボタンを押してください。
 ○受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。

時計の掛け方

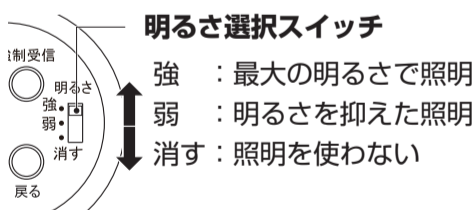
掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴と掛け具(木ねじ)がしっかりと引っかかっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかりと掛かるものを選んでください。
- ドア開閉時の振動などが伝わらないところに設置してください。
- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。



●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

2. 照明の使い方 …………… (暗くなると文字板面を照明する)



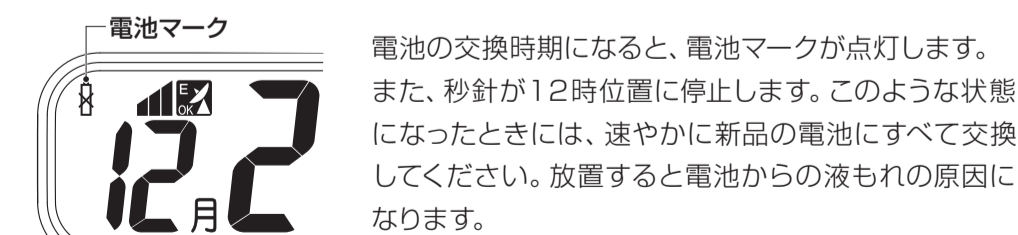
明暗センサーに連動して、暗くなるとカレンダー部分を除く文字板面を照明します。明るさ選択スイッチを設定してください。

電波を受信している最中は、受信しやすくするために消灯します。

Ⓐ 明暗センサーのはたらき……………暗くなると止まる秒針、自動照明

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止させます。また、明るさ選択スイッチが「強」または「弱」のときは、文字板面を照明します。昼や夜間の照明時でも明るさが不足すると反応します。

Ⓑ 電池の交換時期お知らせ機能……………電池マークが点灯



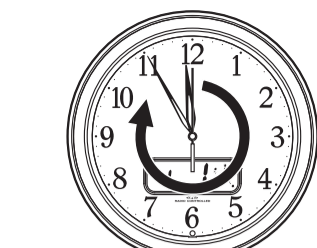
電池の交換時期になると、電池マークが点灯します。また、秒針が12時位置に停止します。このような状態になったときには、速やかに新品の電池にすべて交換してください。放置すると電池からの液もれの原因になります。

◆ 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

- 電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。
- 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのをお守りください。
- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

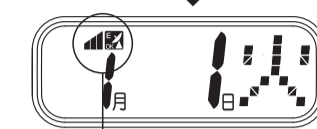


標準電波一受信の流れ

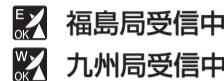


① リセットボタンを押す

針が12時を目指して動き出します。
 この段階では受信を開始しません。
 リセットボタンを押した直後は、2008年1月1日午前12時00分00秒に設定されます。
 ※受信が終了するまでは、ボタンやスイッチに触れないでください。



電波マーク (受信中点滅)



② 針が12時に移動後、受信を開始

送信局を探すために、電波マークが切り替わることがあります。
 電波の状態により電波マークが変化します。

受信できません …………… 受信しやすい



受信中は点滅しながら変化します。(電波サーチ)
 1~2分しても①または②の状態が続く場合は設置場所を変えて、リセットボタンを押してください。

受信終了 (最長16分後)



成功 電波マーク点灯

③-1 受信成功

受信に成功すると福島局または九州局の電波マークが点灯表示に切り替わり、針が時刻を表示します。



※電波マークは受信成功後約24時間点灯します。



失敗 電波マーク消灯

③-2 受信失敗

受信に失敗すると電波マークは消灯して、針は12時00分00秒からの受信に要した時間分を早送りし、時を刻みはじめます。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
 一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える / 受信をやり直す
 電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、リセットボタンを押してください。

操作例.
 2010年12月25日 午前10:37に合わせる



①西暦年が点滅するまで、時刻合わせボタンを約3秒間押しつづけます。



②進むまたは戻るボタンで「年」を「2010」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



③進むまたは戻るボタンで「月」を「12」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



④進むまたは戻るボタンで「日」を「25」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



表示されている時刻
 午前：「午前」表示なし
 午後：「午後」表示あり

⑤進むまたは戻るボタンで「時」を「10」に合わせ、時刻合わせボタンを押して確定します。



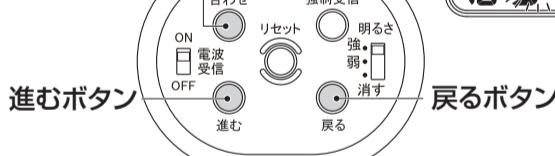
⑥進むまたは戻るボタンで「分」を「37」に合わせます。時刻合わせボタンを押すと針が設定した時刻に移動し時を刻み始めます。

標準電波を受信できない場合は、下記の操作で、時刻を合わせることができます。

■ 手動時刻合わせ

- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。
- (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。
 - 押しすぎると1つ単位に変わり、押し続けると連続して変わります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
 - 設定が終わると針が設定時刻に移動して時を刻み始めます。

時刻合わせボタン



※操作を約7秒間中断すると、表示されている内容に設定して通常の表示に戻ります。
 ※電波受信スイッチが「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。☞「標準電波受信機能のON/OFF」
 ※標準電波を受信しない場合は、平均月差±30秒になります。

◎ 標準電波受信機能のON/OFF

標準電波機能を OFF にするには (標準電波を受信しない)

電波受信スイッチをOFF側にしてください。受信マークが消灯し、標準電波の受信を停止します。任意の時刻に設定するときや標準電波を受信しにくい場所、ノイズにより誤表示するときにはOFFにします。OFFにした後は、手動で時刻・カレンダーを合わせてください。

標準電波機能を ON にするには (標準電波の受信を開始する)

電波受信スイッチをON側にし、リセットボタンを押してください。標準電波を定期的に受信して、時刻を修正します。

◎ 強制受信とリセットボタン

強制受信ボタン……………設置場所を変えたときなど、すぐに受信を開始させるときに使用
 強制受信ボタンを約3秒間押し続けると、針が12時に移動して、受信を開始します。カレンダー表示部には、受信が終わるまで時刻を表示します。受信に失敗しても、受信開始前からの時刻を継続して表示します。

- 電波受信スイッチが「OFF」のとき
- 手動で時刻を設定している最中
- 針が早送りで移動しているときや受信しているとき

リセットボタン……………電池を入れた直後、ノイズや静電気により誤作動したとき
 リセットボタンを押すと、2008年1月1日12:00:00に設定されます。針が12時に移動後、電波受信スイッチがONのときは受信を開始します。電波受信スイッチがOFFのときは、12時から時を刻み始めます。